

成果（結果+プロセス）を示せる人材を育てる

人材育成の「見える化」とタレント開発報告指針コース

不況、円高で、競争環境も厳しい時代だからこそ、将来の飛躍を目指して、**育成効果を把握し、更なる改善への可能性を追求する必要があります！**

予算削減が騒がれる時代だからこそ、**将来への改善の見通しが必要になります！**

人材育成の「見える化」で、成長プロセスを見る習慣をつけ、
関係者で情報を共有し、自律的改善が可能な職場にしよう！

研修効果測定は、とかく**大変なもの、面倒なもの**の思いがちですが、
コツをつかめば**意外と簡単に出来る**ものです。

研修効果測定と人材育成の「見える化」、

更には、先進欧米企業での業界標準である**タレント開発報告指針 TDRP**を学びます。

過去10年間にわたる**人材育成の「見える化」**の実績に基づき、皆さんの職場での
成果（結果+プロセス）の見える化を支援します

講師：石川 洋（いしかわ ひろし）

研修効果測定と人材育成の「見える化」の第一人者

国際メンタリング&コーチングセンター代表、株式会社スマートビジョン代表取締役
日本人材マネジメント協会 JSHRM 執行役員

コーチングやメンタリングを導入してみたが、果たして効果が出ているのか良くつかめないと感じていませんか？ まず、研修を実施する前の、測定可能な達成目標の設定から始め、研修内容の調整、研修の実施、研修後に学んだスキルが、職場で活用され、当初の目標が達成されたか、改善されたのかを**世界的標準の効果測定/検証手法**で実施しましょう。他のメンバーにどれだけ良い影響を与え、チームの目標達成に貢献出来たかが問われます。

本コース参加者は、受講前に市販の「**人材育成の見える化**」本を一読して頂きます。この情報を参考に現在の職場で、人材育成の見える化が必要なテーマを考え、何を測定したいかの課題を提案頂きます。そのテーマの実行に必要な世界標準の効果測定/検証手法のカーク・パトリック/ジャック・フィリップスの効果測定/検証法の基本を学び、どのような人材育成の指標を見える化するべきかを参加者全員で議論し、職場への導入法を考えます。日本や世界で一般的に行われている沢山の効果測定事例を沢山含んだ分かり易いテキストと講義、適切な指導により、長年の課題の解決が可能になります。

本コースでは、参加者の満足度（レベル1）やスキル習得度（レベル2）だけではなく、**職場での活用度（レベル3）や目標達成度（レベル4）、ANSI/ISO HRM 標準化に登場するいくつかの人財指標**の持つ意味と活用法を学べます。

その中で、特に、注目を集めているのが、**HR プロの一人当たり人件費（Cost per hire）及びタレント開発報告指針（TDRP）**です。

何故これらが注目されているのか、その背景を理解することにより、今後社内での準備への意気込みが変わります。ISO HR 標準の最新ガイドラインの正式な連絡を待って、準備を開始しても、**過去の実績をすぐに示せないため**、苦戦を強いられることとなります。**HR Metrics(人財指標)**や**タレント開発報告指針 TDRP**を戦略的に活用することで、ISO の認証・更新をよりスムーズに、進められることになりましょう。



「見える化」運動を強化する育成の「見える化」

- 一般的な「見える化」の定義：基本になる情報、データを示すことで、現場の人が自ら気づき、問題意識を高め、自ら改善する努力をする職場環境をつくること
- 「見える化」で期待される3効果
 - ① 問題の**早期発見と解決**を促す
 - ② 情報を公開することで**自律的改善を活発化**する
 - ③ 問題を顕在化することで**再発防止**を促す

より強力に確実に推進するには

育成の「見える化」では、カギとなる指標を示し、メンターによる指導・支援のもと、**自律的な改善**を促し、**問題を予防し、再発防止する仕組み**をつくる！



【主な対象者】

- ① 結果を示せるリーダーを目指している方
- ② 研修効果の出し方を学び、研修の効果性を高めたいと考えている方
- ③ 育成の「見える化」手法を学び、職場での育成風土を高めたいと考えている方。
- ④ 研修効果の世界標準法を学びたい方
- ⑤ 人事考課指標の中に、育成を含めたいが、どこを見るべきか悩んでいる人事担当の方

コース日程		コース会場	コース料金
2017年3月12日(日)	10:00-18:00	東京会場 (申込み者に別途連絡します) (尚、人数、時期により、特別割引が適用されます)	各回共¥25,000円 (税込)
2017年6月11日(日)	10:00-18:00		

講師紹介(石川 洋:いしかわ ひろし)

1949年生まれ、東工大卒、慶應ビジネススクールMBA取得。大手企業で、海外マーケティング、販売促進、人材マネジメント、人材開発・育成を中心に25年間勤務、米国現地会社役員として5年駐在後、独立。現在、ラーニング&パフォーマンスセンター代表、株式会社スマートビジョン代表取締役、日本人材マネジメント協会 幹事、戦略的人材マネジメント研究会 代表世話人。長年の実務経験を活かし、ラーニング&パフォーマンス及びメンタリングの第一人者として活躍中。元国際メンターシップ大学院大学教授(2005-2006)。厚生労働省管轄、職業能力開発大学校、職業能力開発センター、訓練評価委員。米国際メンタリング学会IMA年次総会でアジア初5回発表の実績。厚生労働省、国土交通省、人事院、東京都、中央職業能力開発協会、IT関連企業、ソフト開発企業、通信関連企業、製薬会社、サービス関連企業、小売業等で、パフォーマンス・コーチングやメンタリング等に関する講演・研修で好評。目的に合ったオーダーメイドの高パフォーマンス研修を生み出し、教育効果測定を含めた独自の戦略的研修を提供し、高い評価。国際メンタリング協会(米IMA)会員、人材マネジメント協会(SHRM)会員、タレント開発協会(ATD)会員。

【主な著書】

- ◆ 「競争に勝ちたいなら人材育成を見える化しなさい」中経出版発行、2010年12月
- ◆ 「メンタリング・バイブル」国際メンタリング&コーチングセンター発行、2011年5月改訂
- ◆ 新刊書「会社が変わる、組織が活きるパフォーマンス・コーチング」日本実業出版社発行、2004年5月発売
- ◆ 「よくわかるビジネス・コーチング入門」日本能率協会マネジメントセンター発行。2001年12月発売開始
- ◆ スタッフアドバイザー誌「人事労務の基本と実務、不況時こそ、真剣にとりくむべき人材育成」、2010年5月

【人材育成の「見える化」とTDRP コースの日程】

- 10:00 自己紹介と要望事項
現場力と見える化
人材育成の「見える化」とは、何のためにやるのか
パフォーマンス測定デファクト標準とは
仕事の任務から、価値観を経て、将来展望に！
測定出来るゴール設定をしているか
良い結果を得るには、どこまで測定が必要か
効果測定法をメンバーに事前に知らせているか
- 14:00：研修効果測定(続き)
レベル3&4測定の基本的進め方
レベル3&4測定成功へのポイント
調査の目的を明確にする
アンケートの実施方法
アンケート対象者とその分析法
アンケート実施のタイミング
レベル4、測定が簡単な項目、難しい項目
測定演習2-11：金銭的価値への換算
ディスカッション7：何を目指し、何を測定するのか？
ANSI版で使われる**人材指標**の読み方(概論)
ANSI版で登場する**各種の人財指標**
HRプロの一人当たり人件費 **Cost per Hire**
人材開発報告指針 TDRPの概要
研修効果測定事例演習：
ケース1：新入社員メンター研修
ケース2：幹部用人財開発報告書

人材育成の「見える化」とタレント開発報告指針 TDRP コース 申込

氏名			ふりがな			性別	男、女
資料送付・連絡先	〔 〕 自宅、〔 〕 会社、		負担先	〔 〕 個人、〔 〕 会社、〔 〕 個人・会社			
自宅	郵便番号	住所					
	電話番号			Fax			
勤務先	郵便番号	住所					
	会社名						
	部署名						
	電話番号			Fax			
自宅 E-mail			会社 E-mail				
コース日程	〔 〕 2017年3月12日(日)		〔 〕 2017年6月11日(日)				

申込みは、こちら：<http://www.smartvision.co.jp/performance051.html>

発行：2017年1月10日

主催・申込み先：国際メンタリング&コーチングセンター
株式会社スマートビジョン内
電話：03-5858-6930、FAX: 03-5858-6931、
E-mail：info@smartvision.co.jp, <http://www.smartvision.co.jp>

